

# MIRAIWOOD

Ryoka sustainable material  
concept book



つめぐる未来  
つづく工芸

自然は、時に厳しく、時に豊かに私たちを包んでいます。木材不足や、伝統工芸の承継問題、大きな自然災害など、工芸の環境も大きく変化しています。

わたしたちは石川県の山中漆器の人々と、漆器のために木を削った木粉を集めて漆器にのみがえらせることで、社会課題を乗り越えようとしています。

わたしたち大人が子どもたちの未来のために、今、できることをちよつと大変だけどやっていく。そんな取り組みについてご紹介いたします。



## やまなか、海

日本の伝統工芸には、その技を育んできた風土や歴史、文化が背景にあります。工芸を紐解く時、まずは自然を見るべきでしょう。厳しくも豊かな川や森林すべてが、水で海へとつながれている生態系であり、そこに暮らす人もまた、循環する生態系の一部であることが見えてきます。

人間が暮らす環境には、美味しい水と食べ物がかかせません。傷を癒す温泉も必要でしょう。そこに私たちは家を建て、家具や食器を作り生活しています。その多くが木材や鉄や土で作られてきました。

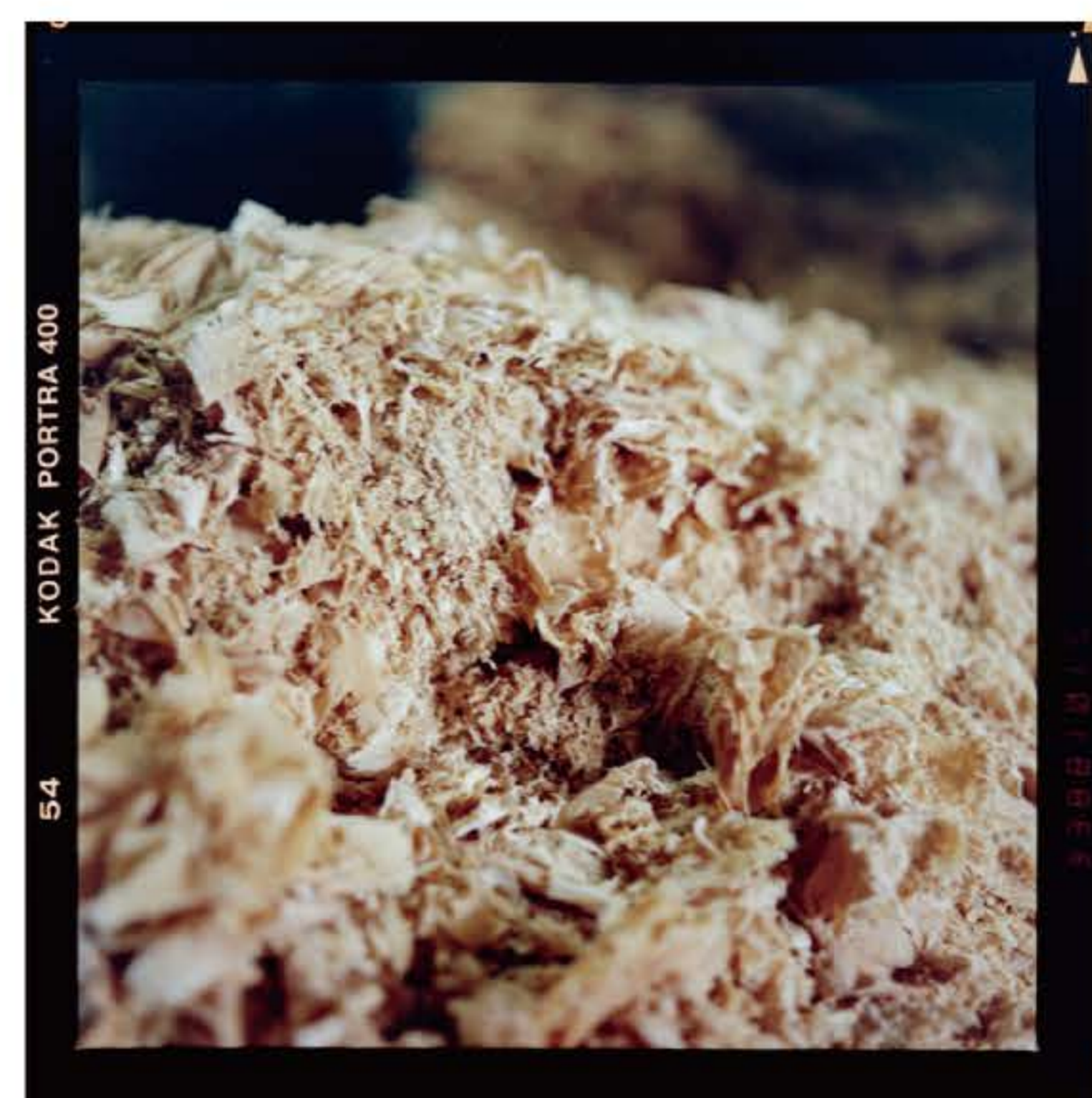
木や鉄や土で作られている伝統工芸もまた循環する大きな生態系の一部なのです。



日本の木

木材は国内で育てることが可能で、建築、家具、食器など様々なものづくりに使われています。しかし、木材を得るためには永い時間が必要です。森を育て、手入れし、数十年をかけてようやく木材になるのです。

しかし、世界の木材不足は深刻です。菱華のミライウッド技術は木粉を成形して木製品を作ることができ、私たちは漆器を作るための木粉を集め山中彫りにも応えるサステイナブルな漆器木地を開発しました。伝統の工芸を未来につなぐ、めぐる器です。



photograph ©Noriko Matsumoto,2024

循環する暮らし

人間の暮らしは、すべてが自然の大きな循環に内包されています。技術革新や大量生産は時にそれを忘れさせます。しかし、私たちは誰一人この自然の循環から離れて生きることはできないのです。

私たちはもともと自然の循環の中に生きています。つまり、本質的に人も自然も社会も循環するサステイナブルなものであるということです。

やまなかの写真  
写真家  
松本のりこ

協力  
bito



菱華産業株式会社  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-6-2  
www.miraiwood.com





CACAO STYLE Canister, Paper cup holder collaboration with Meiji



MIRAIWOOD® Tumbler, CHAWAN “EDO - NIHONBASHI”

### Design for Chocolate

チョコレートを楽しむための蓋つきトレイ。テーブルにいつもチョコレートを切らさぬよう。

その結果、大量のカカオ豆の皮が得られるのですが、この未利用部位を活用したいという志から異業種のコラボレーションが始まりました。

カカオ素材は、ほんのりとチョコレートの香りがします。せっかくだから、チョコレート愛する人のための茶器を作ることになりました。

株式会社明治は多くの人に親しまれるチョコレートで知られています。チョコレートを美味しくするための工夫としてカカオ豆の皮を丁寧に取り除く手間をかけています。

資源を循環させるには、これまでの使い捨てとは異なるものづくり、企業の連携が必要になります。同じ志を抱く異なる分野の企業が協力することで、新しい文化が生まれます。

チョコレートを楽しむためのサステイナブル

### Design of EDO

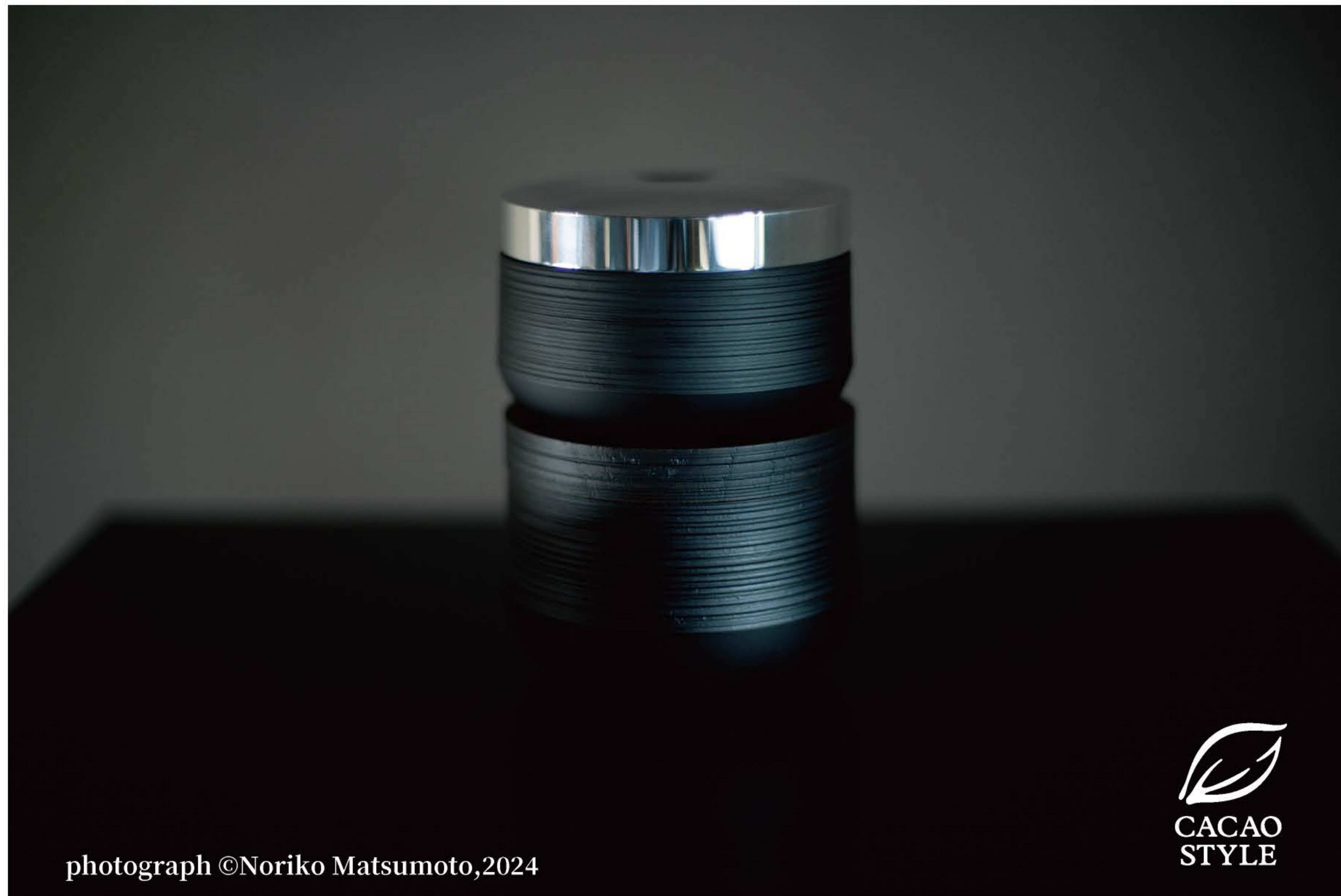
江戸の文化と工芸がモチーフ。江戸庶民の民藝は質素な中にも煌びやかさが宿る。

この器は、江戸日本橋の老舗企業、菱華産業株式会社が自社技術を開発、東京都の公募型共同研究に採択され製品化しました。東京オリンピックを目前に野球バットの廃木粉をアックプサイクル。日本らしさを念頭に、古風な美しいデザインに器へと生まれ変わりました。

天保八年から書かれた『守貞漫稿』には、「勿体ない」貴重な紙資源を回収して「還魂紙」として漉き返してリサイクルする江戸の庶民の生活文化が記述されています。「勿体」とは物の本当の価値のこと。価値あるものは形を変えても価値が残るのです。

菱華産業は、江戸日本橋の紙問屋がルーツ。私たちは江戸の庶民の心を受け継ぎ、大切な資源を有効活用できる文化と社会を目指しています。

東京、日本橋から生まれたサステイナブル



photograph ©Noriko Matsumoto,2024



CACAO STYLE Bonbonnière collaboration with Meiji and GATOMIKIO



CACAO STYLE Bonbonnière collaboration with Meiji and GATOMIKIO

### Quiet design

目にも静かで凛とした佇まい。騒々しい時代においては静かである品性こそが心を和ませる。

## 伝統工芸山中漆器の サステイナブル

木材や植物材料の使われな部分  
を大切に集めて、新しい素敵なもの  
を作る。もとより日本の各地にはそ  
ういった丁寧素材を使う伝統工芸  
の文化が根付いていました。

伝統工芸山中漆器は、世界的な政  
情不安による木材不足に悩まされて  
いました。漆器はたくさん木材が  
必要なうえ、美しい形状のためにそ  
の大半を削る必要があります。

山中の我戸幹男商店は、天然の木  
材と伝統の技にこだわった漆器で高  
い人気を得ています。故にたくさん  
の樺の木粉も出るので、ミライウツ  
ド技術で木材不足を克服する挑戦を  
行っていました。その木粉の再生に  
カカオ豆の皮を役立てることはでき  
ないだろうか、との申し出が明治か  
らありました。

## 私たちと文化と社会の サステイナブル

山中漆器の樺の木粉に、カカオ豆  
の皮をブレンドするとチョコレート  
の天然のブラウン色のサステイナブル  
な漆器が生まれました。植物由来  
の天然素材なので、これもほんのり  
とチョコレートの香りがします。

伝統工芸を継承するためには、安  
定した材料供給が重要です。使われ  
ない部分を丁寧にアップサイクルす  
ることで、木材の不足を補い、産地  
の人々も安定した働き方ができるよ  
うになるように祈っています。

私たちの複雑な社会は様々な課題  
を抱えています。サステイナブル  
という目標の元に異なる文化、異な  
る産業が協力することで、困難を超  
えて、子どもたちの未来を作ること  
ができる。わたしたち菱華産業はそ  
う信じています。